

ウズラ等の生息状況に係るアンケート調査等の結果

1. 情報収集の方法

公益財団法人日本野鳥の会と一般社団法人全日本狩猟倶楽部から情報収集を行った。

(1) 日本野鳥の会

2002 年から 2012 年の各支部（全国 59 支部）の会報からウズラとヤマシギについて、その記録年月日、記録場所（市町村、河川名等）確認個体数、引用文献（記載されていた支部報、その他文献）記録がある場合は、観察された環境、行動内容（特にさえずり等の繁殖に関わる行動）等の情報の抽出を依頼した。

収集できた情報の中から、目撃場所などがある程度明確なものや、近年以内の有効な情報を集計した。なお、観察会等の確認種リストのような記録が多かったためか、個体数の記載のない情報が多くみうけられた。その場合 1 個体として集計した。

(2) 全日本狩猟倶楽部

鳥を対象として猟をする方が多いと考えられる、全日本狩猟倶楽部の会員を対象に、近年 10 年間のウズラ、ヤマシギの確認情報をアンケートにより収集した。（別添アンケート調査用紙参照）

3 月 1 日締め切りとしたアンケート用紙を 2 月中旬に送付し、3 月 4 日到着分までの回答について集計した。アンケートの発送、回収等の概要は以下の通り（発送先は次頁の表を参照）。

発送数：	300 通	（3 月 1 日締め切り）
回収数：	135 通	（3 月 4 日到着分）
回収率：	45%	

表 アンケート発送先の内訳

都道府県名	件数	都道府県名	件数
北海道	2	三重県	2
青森県	3	滋賀県	3
岩手県	4	京都府	5
宮城県	7	大阪府	2
秋田県	5	兵庫県	11
山形県	4	奈良県	4
福島県	6	和歌山県	7
茨城県	10	鳥取県	3
栃木県	9	島根県	7
群馬県	12	岡山県	11
埼玉県	23	広島県	13
東京都	21	山口県	2
千葉県	24	徳島県	6
神奈川県	11	香川県	3
新潟県	7	愛媛県	4
富山県	2	高知県	4
石川県	2	福岡県	3
福井県	5	佐賀県	4
長野県	2	長崎県	2
山梨県	8	熊本県	4
岐阜県	3	大分県	6
静岡県	14	宮崎県	0
愛知県	8	鹿児島県	2
		合 計	300

2. 情報収集の結果

(1) ウズラ

1) 収集情報件数

- ・日本野鳥の会 135 件
- ・全日本狩猟倶楽部 185 件

2) 年別・月別記録数

確認年についてみると、全日本狩猟倶楽部では過去に遡ると記憶が薄れるためか、最近の確認数が多かった。一方、野鳥の会の支部報では、逐次記録が残されているため、過去に遡っても比較的一定の記録数が得られている。

確認月についてみると、全日本狩猟倶楽部ではハンターを対象としているため、猟期での確認数が多く 11 月から翌 2 月までで全体の 64.1% を占めていた。野鳥の会の支部報では、そのような季節的な偏りはみられず各月に確認されている。特に 4 月の確認が多いが (25.4%)、埼玉県、熊本県、香川

県をはじめとした 14 都県から広く情報が得られていた。

全日本狩猟倶楽部のアンケートでウズラが確認された状況は、「猟犬に追われて目撃」、「犬の訓練中に目撃」が多く、犬による追い出しで確認されることがほとんどであったためか、全体の確認数は 358 羽と多かった。

表 日本野鳥の会支部報による年別・月別ウズラの確認羽数

確認年	確認月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
2001										3			3
2002		1		3	1	5	5				1	1	17
2003	1	5	2	4			1				6		19
2004	5	1		6			1	1		4	1		19
2005	5		1	3					1	3	1		14
2006	2	1		1	2					1	2	2	11
2007	2	3	7	11			1			1	3		28
2008		3	2	3				2				1	11
2009	1		2	7	1		1	1	1			4	18
2010	2			4		1	1				1		9
2011	3	1	1		1					2		1	9
2012	1	1		3		1		1				2	9
計	22	16	15	45	5	7	10	5	2	14	15	11	177
割合 (%)	12.4	9.0	8.5	25.4	2.8	4.0	5.6	2.8	1.1	7.9	8.5	6.2	100.0

表 全日本狩猟倶楽部アンケートによる年別・月別ウズラの確認羽数

確認年	確認月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
2003	6	2											8
2004													
2005													
2006											2	1	3
2007											4		4
2008	1	2								1		1	5
2009	4	2									6		12
2010	3									15	14	5	37
2011	13	15		3	15					16	8	8	78
2012	3	7	10	1	20		2	4		40	32	27	146
2013	31	33	1										65
計	61	61	11	4	35	0	2	4	0	72	66	42	358
割合 (%)	17.0	17.0	3.1	1.1	9.8	0.0	0.6	1.1	0.0	20.1	18.4	11.7	100.0

3) 確認された環境

全日本狩猟倶楽部のアンケートでは、河川敷と草地での確認が多く、全体の約 77%を占めていた。一方、野鳥の会の支部報からは草地を中心とした様々な環境から記録があった。

なお、野鳥の会の牧場での記録は 0 であったが、牧草地の記録はあったため、草地に含まれている可能性がある。また、湿性草地としてまとめた、湖岸、ヨシ原などからの情報は、全日本狩猟倶楽部のアンケートからは得られなかった。バードウォッチングで出かける環境と、狩猟目的で出かける環境が異なることが一因として考えられる。

表 ウズラの環境別確認件数

	草地	牧場	河川敷	畑地	水田等	湿性草地
日本野鳥の会	13	0	12	6	10	17
全日本狩猟倶楽部	54	12	86	20	11	0

4) 確認された市町村

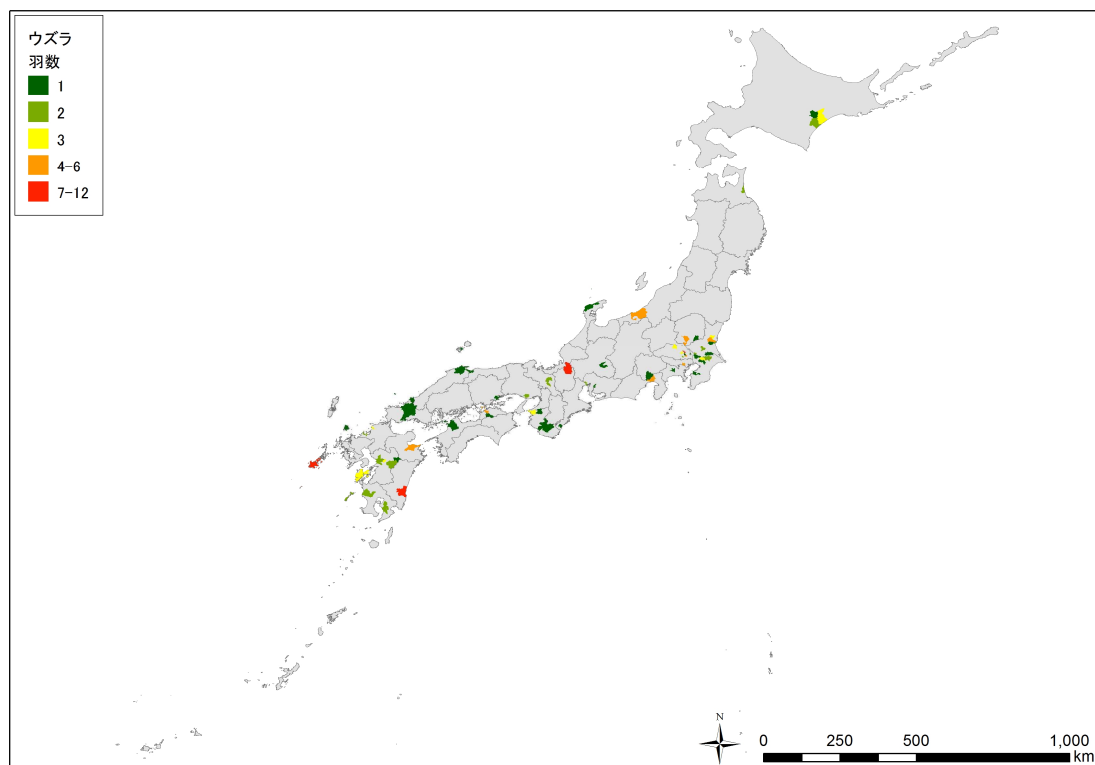


図 日本野鳥の会支部報によるウズラの確認市町村

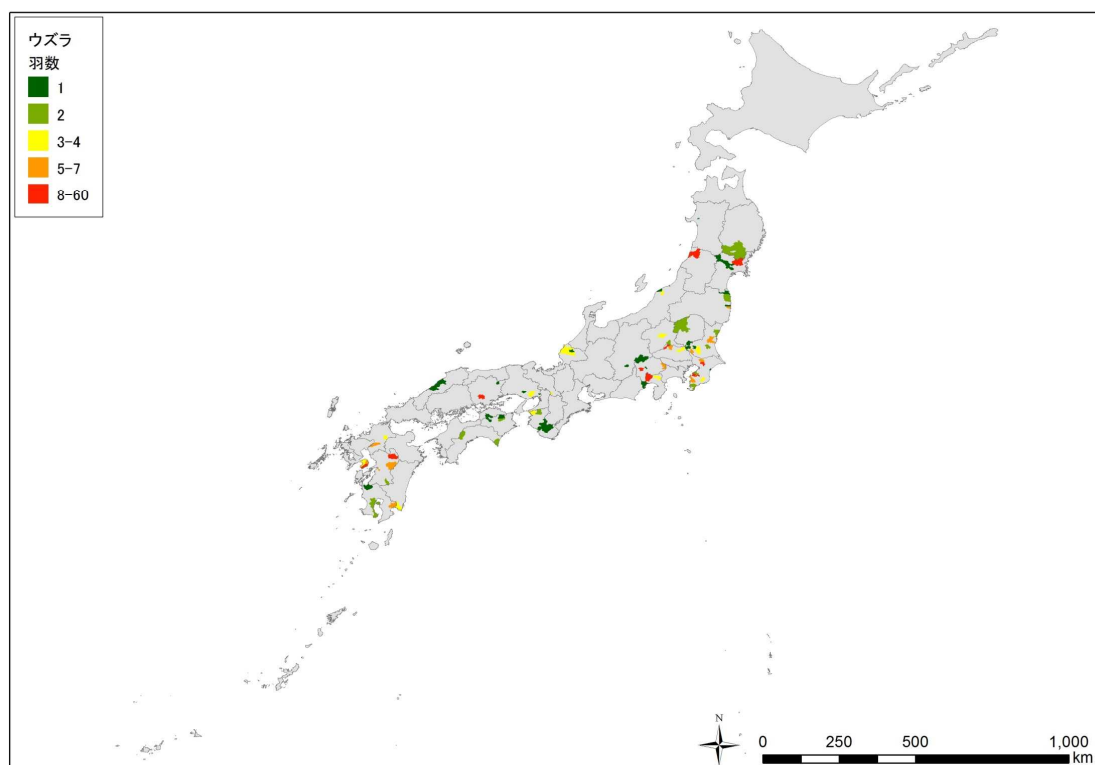


図 全日本狩猟倶楽部アンケートによるウズラの確認市

(2) ヤマシギ

1) 収集情報件数

- ・日本野鳥の会 454 件
- ・全日本狩猟倶楽部 307 件

2) 年別・月別記録数

確認年についてみると、全日本狩猟倶楽部では最近の確認数が多く、野鳥の会の支部報では、毎年一定の記録数が得られており、ウズラの場合と同様の傾向を示した。

確認月についてみると、全日本狩猟倶楽部ではやはり、猟期での確認数が多く 11 月から翌 2 月までで全体の 87.6% を占めていた。野鳥の会の支部報では、1 月頃をピークに冬期に多く確認され、夏から秋にかけて 7～9 月は確認数が少なかった。

過去 10 年程度における全体的な確認羽数は日本野鳥の会から得られた記録数の方が多かったが、直近 3 年程度であれば、全日本狩猟倶楽部による確認羽数が多かった。確認された状況は、「狩猟で捕獲」、「猟犬に追われて目撃」が多かった。

表 日本野鳥の会支部報による年別・月別ヤマシギの確認羽数

確認年	確認月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
2001		1	1	1						1	3	17	24
2002	8	9	7	6		1				3	16	7	58
2003	9	11	1	10		2	1			1	3	2	40
2004	20	11	9	6	3	6	1			1	4	11	72
2005	16	14	13	9	3	1				1	1	16	74
2006	8	3	4	6	2	3			1	1	5	2	35
2007	3	3	3	8	4	2	1			2	5	2	33
2008	5	4	1	10				1	1	1	2	3	28
2009	5	3	3	15	3	1				4	6	4	44
2010	8	5	2	5	1		2			1	5	4	33
2011	20	8	5	6	1					1	5	6	52
2012	15	4	2	3	2	4							30
計	117	76	51	85	19	20	5	1	2	17	55	74	535
割合 (%)	21.9	14.2	9.5	15.9	3.6	3.7	0.9	0.2	0.4	3.2	10.3	13.8	100.0

表 全日本狩猟倶楽部アンケートによる年別・月別ヤマシギの確認羽数

確認年	確認月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
2003	2										6	8	16
2004	2										4	3	9
2005											2		2
2006	1										2	1	4
2007	1	1									2	3	7
2008	1									2	6	2	11
2009	15	2	5							1	3	4	30
2010	2									6	13	12	33
2011	2	4			2					3	20	22	53
2012	9	2	5	9			1	2	2	13	42	53	138
2013	48	61											109
計	83	70	10	9	2	0	1	2	2	25	100	108	412
割合(%)	20.1	17.0	2.4	2.2	0.5	0.0	0.2	0.5	0.5	6.1	24.3	26.2	100.0

3) 確認された環境

野鳥の会支部報による記録と全日本狩猟倶楽部のアンケートで若干の差異はあるが、森林と湿地で多く確認されている。人工的な緑地のような環境でも確認されており、野鳥の会では病院や公園の緑地や庭などで、全日本狩猟倶楽部アンケートでは植木用の苗木等を人工的に植えているような環境で確認されている。

表 ヤマシギの環境別確認件数

	森林	畑地	河川敷	湿地	水田	草地・藪	庭・緑地
日本野鳥の会	25	10	7	29	17	13	12
全日本狩猟倶楽部	104	52	66	75	22	5	7

4) 確認された市町村

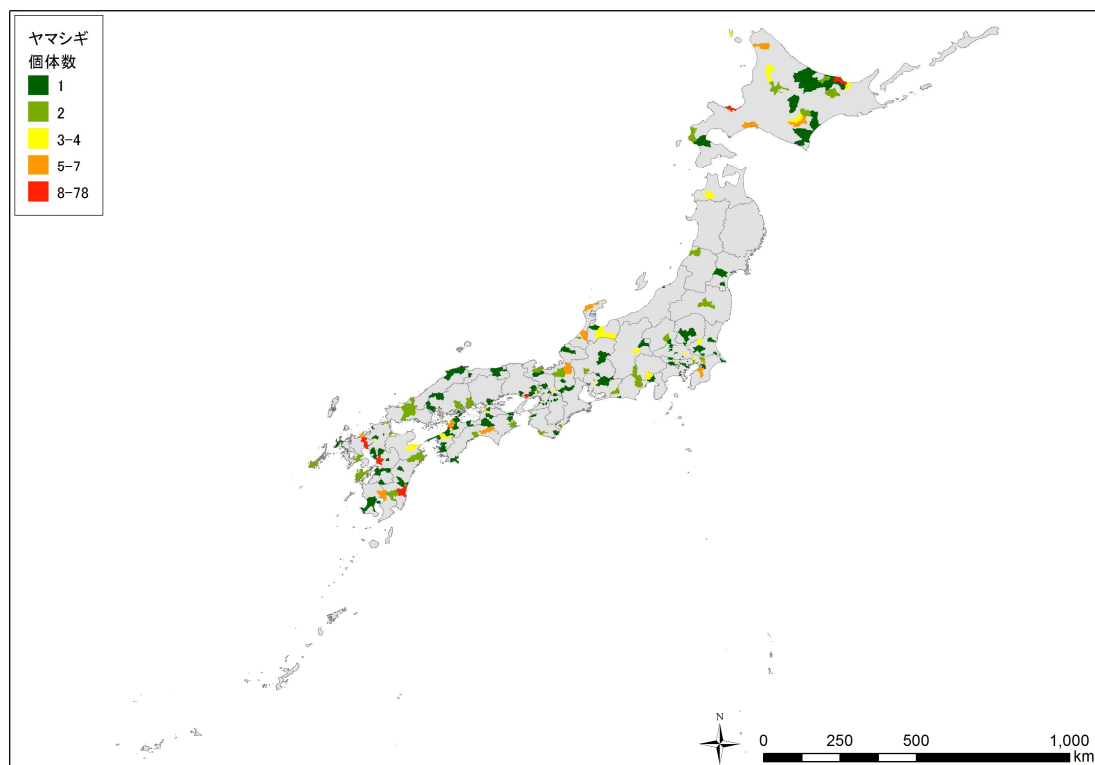


図 日本野鳥の会支部報によるヤマシギの確認市町村

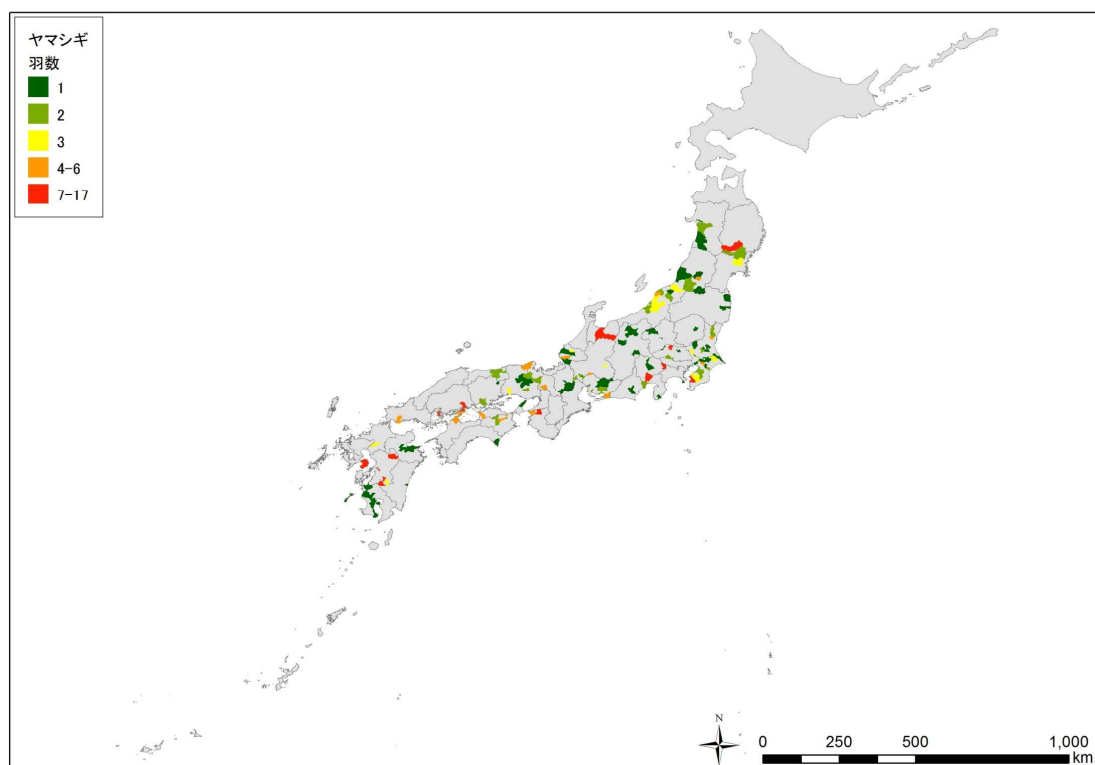


図 全日本狩猟倶楽部アンケートによるヤマシギの確認

3. 今後の課題

- ・記録を過去に遡ると、支部報に文字記録として逐次データを蓄積している日本野鳥の会の方が情報量が多いが、最近のデータについては記憶にあることと、猟犬で追い出しているためか、全日本狩猟倶楽部のデータが多い。全日本狩猟倶楽部でも毎年データが蓄積できるシステムができると有用な情報となる。
- ・野鳥の会と全日本狩猟倶楽部では、確認に至るための目的が異なるほか、今回は地域によりアンケート収集の努力量が異なっている可能性もある。そのことも踏まえながら、今後両方の情報を収集することが重要である。
- ・夜行性のヤマシギについて、野鳥の会の支部報にも一定数の記録があり、有効であることが分かった。

アンケート調査用紙記入要領

- アンケート調査用紙は両面あり、表がウズラ、裏がヤマシギとなっています。

奄美諸島や沖縄諸島では、ヤマシギとアマミヤマシギの生息地が重複しております。ご存知の通り、アマミヤマシギは狩猟鳥ではありません。今回アンケートの対象としているのはヤマシギですので、これらの地域の情報をお持ちの方は、ヤマシギの情報を記入して下さい。

また、猟友にお声がけいただき、複数人数分の情報をご記入いただいても構いません。

年月日

- ・ 猟期、非猟期にかかわらず、過去 10 年くらいの間で、確認した年月日をご記入下さい。
- ・ はっきりと分からない場合には、「平成○年○月頃」や「平成○年」等の記載でも構いません。

場所

- ・ 確認した場所をご記入下さい。
- ・ 市町村レベルまでご記入下さい。
- ・ 古い情報の場合は、市町村合併前の市町村名でも構いません。

環境

- ・ 確認した場所の環境を選択肢から選んで○を記入して下さい。
- ・ 選択肢に該当しない場合は「その他」に○を記入して、() 内に環境を記入して下さい。
- ・ 記憶がなければ、何も記入しなくて構いません。

羽数

- ・ 確認した羽数を記入して下さい。

確認

- ・ 目撃なのか、狩猟等による捕獲なのか、該当する方に○を記入して下さい。

備考

- ・ 特筆すべきことがあればご記入下さい。空欄でも結構です。

最近の動向等

対象種が「最近増えている」とか「減っている」、対象種の「生息環境が悪化している」など、何か気がつくことがあればご記入下さい。何もなければ空欄で構いません。

アンケート調査用紙（表）

No.	年月日	場所	環境	羽数	確認	備考
例	平成 2 3 年 1 1 月 頃 日	〇〇 都道 府県 × × 市町 村	草地 牧場 河川敷 畑地 その他（ ）	1	目撃 捕獲	猟犬に追い出されて飛び立つのを目撃した。
1	平成 年 月 日	都道 府県 市町 村	草地 牧場 河川敷 畑地 その他（ ）		目撃 捕獲	
2	平成 年 月 日	都道 府県 市町 村	草地 牧場 河川敷 畑地 その他（ ）		目撃 捕獲	
3	平成 年 月 日	都道 府県 市町 村	草地 牧場 河川敷 畑地 その他（ ）		目撃 捕獲	
4	平成 年 月 日	都道 府県 市町 村	草地 牧場 河川敷 畑地 その他（ ）		目撃 捕獲	
5	平成 年 月 日	都道 府県 市町 村	草地 牧場 河川敷 畑地 その他（ ）		目撃 捕獲	
6	平成 年 月 日	都道 府県 市町 村	草地 牧場 河川敷 畑地 その他（ ）		目撃 捕獲	
7	平成 年 月 日	都道 府県 市町 村	草地 牧場 河川敷 畑地 その他（ ）		目撃 捕獲	

最近の動向等

裏面の記入をお願いします

アンケート調査用紙（裏）

No.	年月日	場所	環境	羽数	確認	備考
例	平成 1 5 年 月 日	〇〇 都道 × × 市町 府県 村	森林 畑地 河川敷 湿地 水田 その他()	1	目撃 捕獲	狩猟で捕獲した
1	平成 年 月 日	都道 市町 府県 村	森林 畑地 河川敷 湿地 水田 その他()			
2	平成 年 月 日	都道 市町 府県 村	森林 畑地 河川敷 湿地 水田 その他()			
3	平成 年 月 日	都道 市町 府県 村	森林 畑地 河川敷 湿地 水田 その他()			
4	平成 年 月 日	都道 市町 府県 村	森林 畑地 河川敷 湿地 水田 その他()			
5	平成 年 月 日	都道 市町 府県 村	森林 畑地 河川敷 湿地 水田 その他()			
6	平成 年 月 日	都道 市町 府県 村	森林 畑地 河川敷 湿地 水田 その他()			
7	平成 年 月 日	都道 市町 府県 村	森林 畑地 河川敷 湿地 水田 その他()			

最近の動向等

ご協力ありがとうございました。返信用封筒にてご返送ください。